

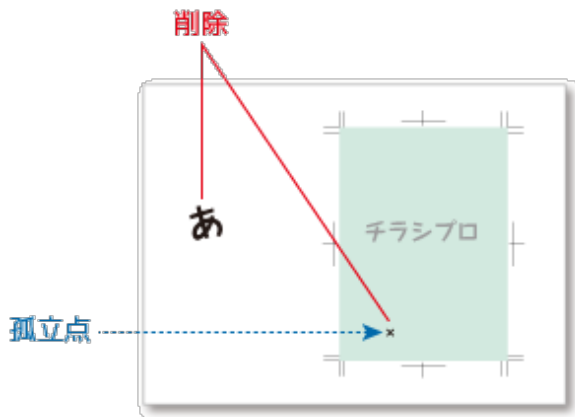
## その他の注意

### 1. 不要なオブジェクトは削除してください

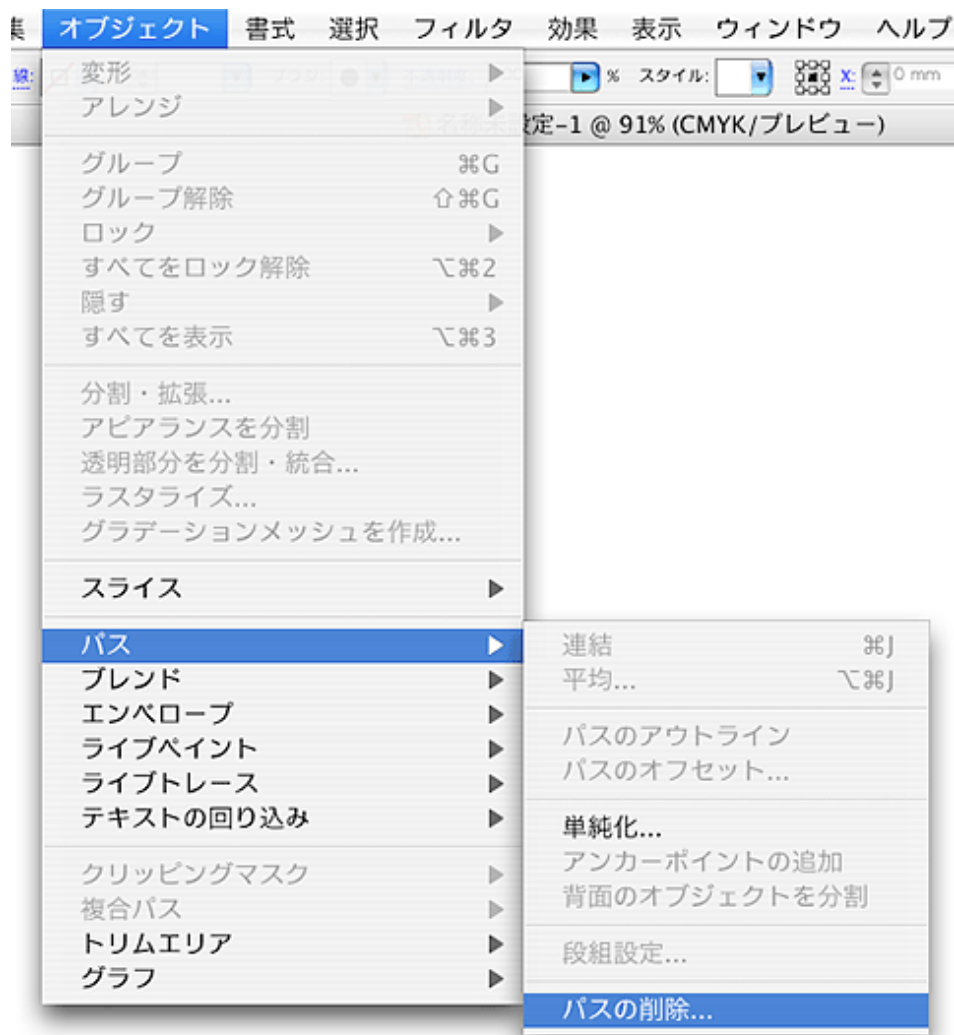
#### ☑ Check!

※トンボの外側に不要なオブジェクトを残さないでください。

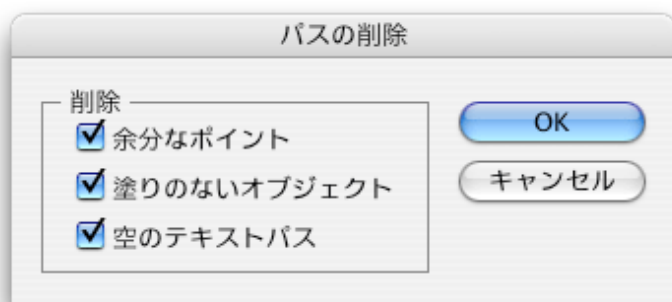
※不要なアンカーポイント（孤立点）は削除してください。



#### ● 孤立点の削除方法

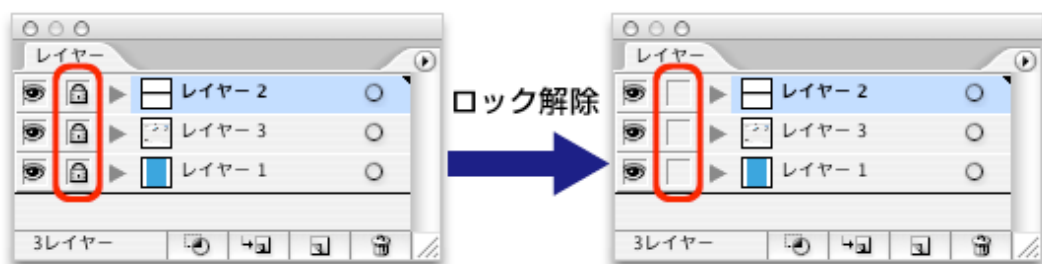


メニューから [オブジェクト] → [パス] → [パスの削除] を選択します。



全てにチェックを入れた状態で[OK]を押すと、孤立点が削除されます。

## 2. 不要なレイヤーは削除し、オブジェクトのロックは解除してください



## 3. カラーの場合はトンボの線色を「レジストレーションカラー」に設定してください

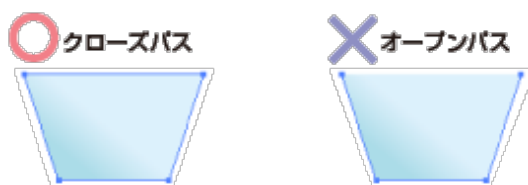
## ✓ Check!

※レジストレーションカラーは**トンボ以外には適用しないでください**。

[トリムマーク]で作成したトンボは、自動的に「レジストレーションカラー (C:100 M:100 Y:100 K:100)」に設定されますが、誤って色を変更してしまった場合は、スウォッチパレットの「レジストレーション」を選択して元に戻してください。



## 4. 面塗りはクローズパスにしてください

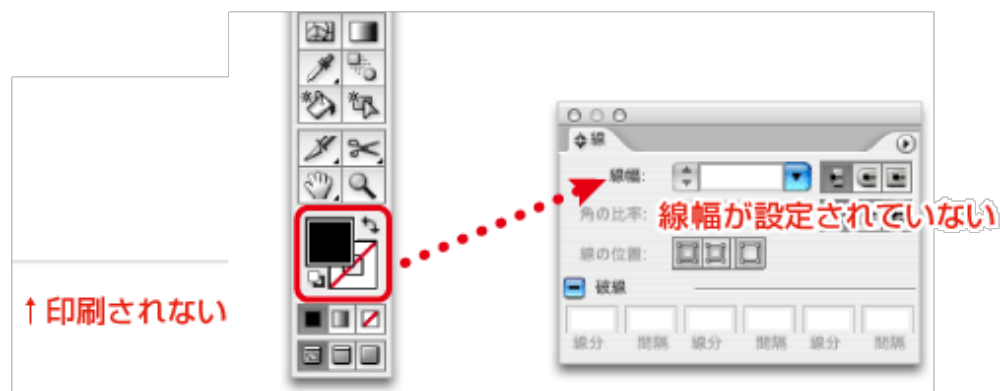


## 5. 線幅に注意してください

### ✓ Check!

※ヘアライン (下記参照) は印刷されませんのでご注意ください。  
※線幅は **0.3 pt 以上** を推奨いたします。

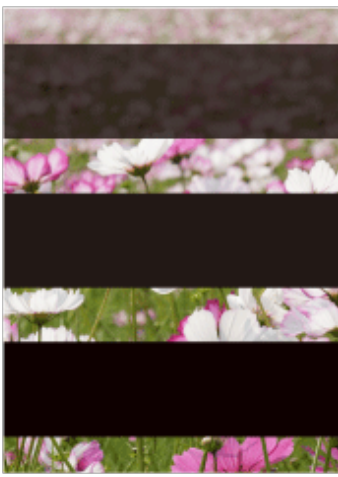
「塗り」のみに色を適用した (線幅が設定されていない) 線をヘアラインといいます。ヘアラインは画面上では表示されていますが、仕上がりでは印刷されません。



## 6. K100%のオブジェクトを使用する際のご注意

画像や文字などのオブジェクトの上にK100%のオブジェクトを重ねた場合、画面上では問題なく表示されていますが、印刷後は下に重なった画像や文字などが薄く透けているような状態の仕上がりになります。

そういった現象を回避する場合は、K100%に他の色を1%以上混ぜるか、リッチブラック (例: C50% M40% Y40% K100%) を使用してください。



C:0 M:0 Y:0 K:100

C:1 M:0 Y:0 K:100

C:50 M:40 Y:40 K:100  
(リッチブラック)

## 7. オーバープリント設定についてのご注意

### ✓ Check!

※**スミ以外にオーバープリントを設定しないでください。**

※オーバープリントを設定した場合、原稿などに  
**「ブラックオーバープリント処理済み」**と明記してください。

### ● オーバープリントとは

【オーバープリント設定なし】



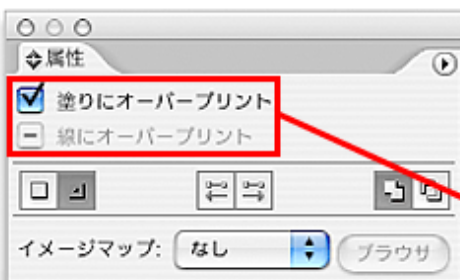
版ズレが起こった場合、下の版の抜かれた部分が白フチのように目立ってしまいます。

【オーバープリント設定あり】



下の版が抜かれていないので、版ズレが起こった場合でも影響はありません。

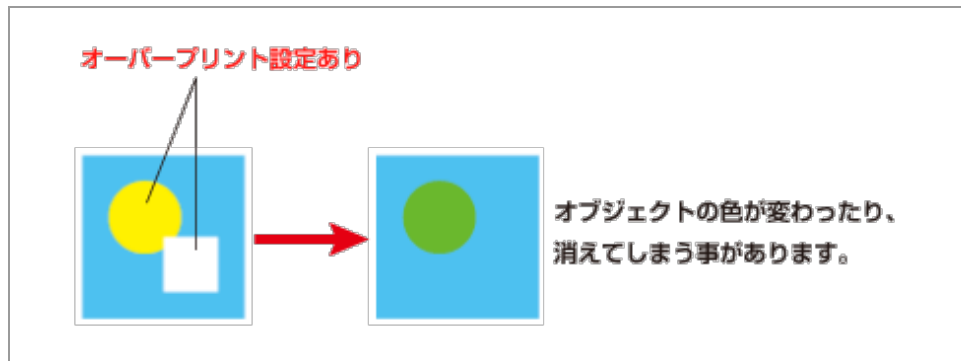
「属性」ウィンドウで選択したオブジェクトごとにオーバープリントの設定または解除を行う事が出来ます。



チェックを入れることで  
オーバープリントが設定されます。

※トラブルに繋がる可能性がありますので、スミ以外のオブジェクトにはオ

オーバープリントを設定しないでください。



## 8. データはCMYKモードで作成し、特色指定は別に注記してください



特色からCMYKに変換を行う場合は [こちら](#)

この番号を注記してください。